

7月上旬とは思えないくらいの暑さになってきました。今月は『海』行事です！

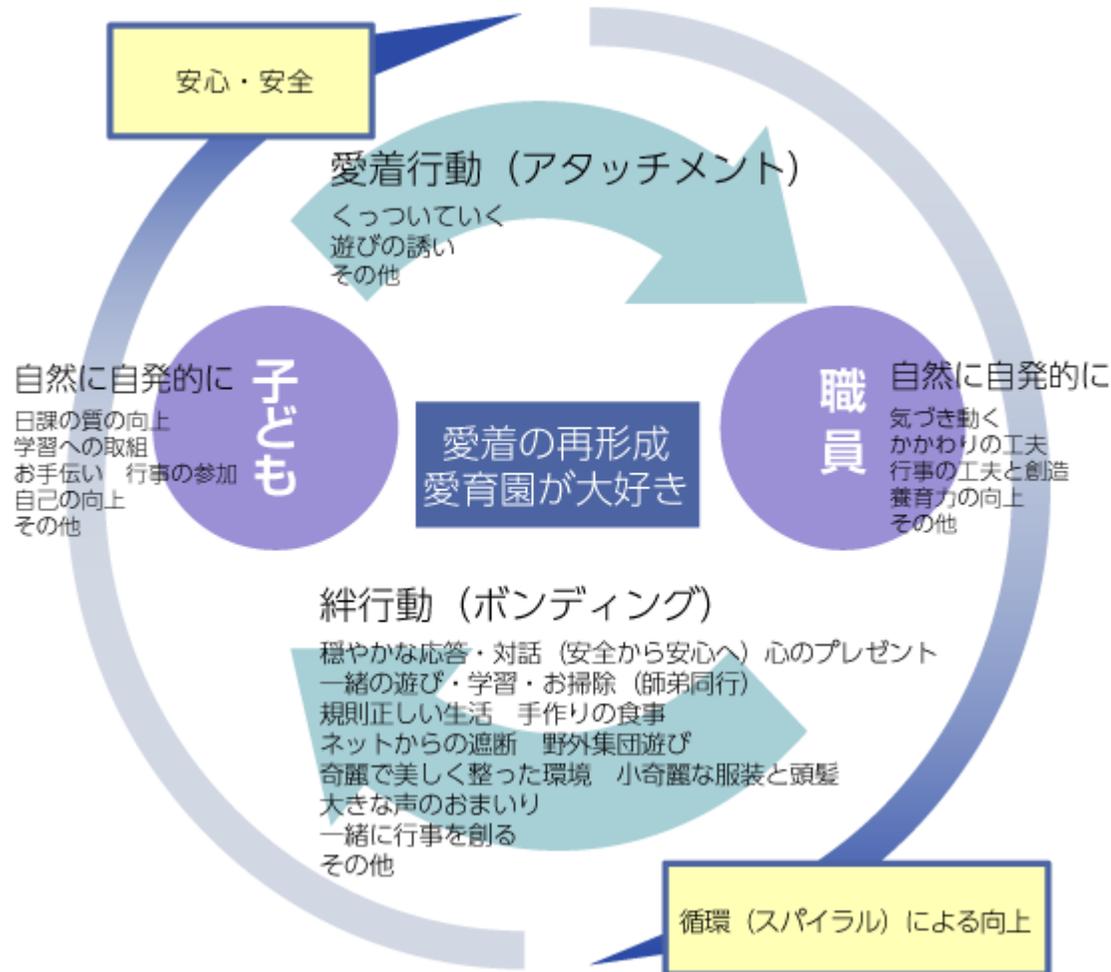


おひやり

No.354
 令和4年7月10日発行
 社会福祉法人円福会
 円福寺愛育園
 園長 藤本光世

円福寺愛育園の養育(願い)

園長 藤本光世



愛着の再形成...愛育園の養育の目指す道

令和3年6月の日本更生保護協会主催の宮本信也先生のご講演(オンライン)「親と子の愛着形成」を聴きその後いろいろな講演に触れて、愛育園の養育は「愛着の再形成」であると考えようになりました。

私たちができることは絆行動(ボンディング)です。子どもに「あなたが大好きだよ」という心を届ける。子どもが何をやっても、子どもを指導している時でも、その裏には私たちの「あなたが大好きだよ」という心があるのです。

それを愛育園の職員が心をつ一つにして、同一歩調で、組織的に計画的に「絆行動(ボンディング)」として子どもに届ける。それが私たち社会的養護に携わる者の仕事であると思いました。(ボンディングの意味は宮本信也先生がお話されたことと、少し違うかもしれません)

愛育園のような子ども集団を職員集団が育てる、集団養育はボンディングを最もやりやすいと思っています。そして、質の高いボンディングを子どもたちに働きかけることが出来ると思っています。職員は他の職員の「ボンディング」や行事の「ボンディング」から学ぶことが出来ます。

「学ぶ」とは実際に観て、やってみて、自分を変えることです。文字を読むことではありません。記憶することではありません。観ること(子どもを職員を)とやってみること(やってみて子どもの反応を知る)ができるのは集団養育の特長です。こうしてそれぞれの職員が養育レベルを高め、愛育園全体の養育レベルが上がることになります。

6月の全職員との面接の中で、ホーム長が子どもが思いっきり遊んで心を開くことの重要性を話してくれました。すると、いろいろなことに積極的に取り組み、そんなに学習しているように見えなくても、学力が伸びるのです。自立する力を自分でつけるようになる。「自然にしかも自発的に」はとっても大切です。その通りと思いました。

7月は行事の空白期です。そこに何か行事を入れたい。子どもが思いっきり心を解放するような、そんな行事を入れたいと思いました。まず、参考にしたのは善光寺ウォーキングでした。途中の行程で、子どもたちは21キロを不安を乗り越えて歩きました。昼食の時に歩くだけでは足りないと、ホワイトリングを走って一周して競争している姿がありました。歩いている時、ずーっと職員の手を握って離さない子がいました。職員と愛着が深まりました。さらに、善光寺でおまじりして、アイスクリームを買って食べて、子どもたちにとって楽しみがありました。

向こうへ行って楽しみがある。思いっきり遊べる。何かないかなあと考えていると、海に連れて行ってあげようというアイデアが浮かびました。

これまでも海に連れて行ってあげたいなあという思いを持っていました。でも、子どもたちが落ち着いて先生方の言うことをよく聞いてくれないと事故が起きます。海の事故は死亡につながるほど危険です。子どもを助けようとして亡くなる親がいます。もし、そのようなことが起きた

ら、これまでの努力はすべて水の泡になります。

連れていけるだろうかと、ホーム長に聞いてみました。すると、子どもたちをよろこばせるには、海が最高という言葉が返って来ました。ホーム長は、近くの山の沢などで遊ばせることを考えていたようです。スケールが違うと言ってくれました。子どもたちが落ち着いてきているので、大丈夫です。そう言ってくれました。

海へ行って生き物を採集してくる。海は水がきれいだし、面白い生き物がたくさんいます。実は、今から四十年ほど前に我が子が小さい時に海へ連れて行って、ヒトデとかアメフラシを捕ってきて一年ほど飼育したことがありました。楽しいですよ。一年後に大失敗して全部死んでしまいましたけれど。

子どもたちにも、海で面白い生物を捕って来て飼育する体験をさせたいなあと思いました。きっと夢中になると思います。子どもたちが夢中になる姿が目に見えます。臨海行事は7月17日です。それまで大いに盛り上げていきましょう。

職員が自主的に何度も下見に行ってくれるのが嬉しいです。安全な臨海行事を考えてくれます。実りのある臨海行事になりますように。

臨海学習に向けて！

主任指導員 富沢正樹

7月17日に愛育園で臨海学習を行う事になりました。

あおぞらホームの男の子たちは生き物を捕まえるのも飼うのもとっても大好きで、休みの日の度に、今日は皆神山にカゲチョロ探し、今日は神田川にサワガニ探し、今日は池にフナ釣り、今日は須坂に昆虫探しと、毎週土日あらゆる場所にみんなで出かけていき、日が暮れるまで子ども先生達も夢中になって遊びつくします。私はこういった活動をとっても大切にしています。ストレス発散や集中力がつくなどの事もありますが、それは二の次で、自然の中で思いっきり遊び、生き物に直(素手)に触れ、どうすれば生き物を捕まえられるか頭を使い、時には子供同士で捕まえた生き物の大きさに張り合ったり、ケンカしたり、時には協力プレイで生き物を追い込んで捕まえたりしていると、そこから色々な感情が生まれて、自分をさらけ出した上での人と関わりが生まれて、本気の時間が生まれます。そうすると、頭ではなく体で自分自身や相手への理解が進んでいきます。そんな様子(成長)を子ども達から感じる為、外遊びの活動を大事にしています。

自己や他者への理解が進むと不安感が減って自信がつくのか、基本的に毎日明るく前向きに、そして張り切って過ごせます。そして、気持ちが沈んだ時の立ち直りも早くなります。こういった事をここ数年のホームの子達の様子を見ていて感じます。私も毎日子ども達と過ごしている時間が楽しいです。

私たち職員の目標は、子ども達がやがて自立して社会の中で踏ん張れる力を身につける事です。

こういった感情を出し切る活動や日々の前向きさが、目標に向かって進んでいる実感があるので、これからも沢山外遊び連れていきたいです。

……と、6月に園長先生と話をさせて頂く機会がありました。すると何と、その2時間後に再び園長先生に呼ばれ「海に磯採集に連れて行ってあげたら喜ぶんじゃないか！？7月に行こう！」と言われました。私は、ほんっつとうに驚きました。2つ驚きました。

1つは、私は7月の目玉行事に中野市の浜津ヶ池に釣り遊びを計画しようと思っていて、「釣りは滅多にさせてあげてないから喜ぶぞ〜」なんて考えていたら、「海」という何倍も大きなスケールの提案を受け、さすが園長先生！という驚きです(がんばれ自分)。もう1つは、子ども達の中にも海に行きたいと思っている子は以前から沢山いましたが、万が一の事があってはならないとずっと敬遠されてきて今まで一度も行った事はありませんでした。しかし今回、子ども達が自分たちの生活っぷりで、園長先生に「海に連れて行ってあげたい」と思わせたのです。子ども達のそのパワーに驚きました。園長先生は、私たち職員や子ども達に普段から「相手を変えようとするのではなく、自分を変える事の方が楽で、その方が相手も変わる」という事を話されます。自分の事を棚上げして、相手に求めすぎたり、見返りを求めたり、大人だって難しい事を子ども達がやってのけたんだという嬉しい驚きでした。

6月半ば、園長先生から臨海学習の告知が子ども達にされてから、子ども達のワクワクが止りません。私たち職員も下見を重ね安全に行事できるように計画を立てていますが、下見の度にその様子を子ども達に報告すると好奇心旺盛な顔で話に聞き入り、図鑑で魚の種類を調べたり、プールや小川で泳ぎや息継ぎの練習をしたり、まごころホームの女の子たちまでサワガニを飼いだしたり、なんだか前向きなエネルギーがあふれています。2回目の下見の時は、小魚や貝を何とか捕まえ、砂浜の砂や海水や海藻も持ち帰ってきて、水槽を設置したら、子ども達が代わるがわるずーずーと水槽を眺めています。あおぞらホームの男の子たちは、先生たちが捕まえられなかったようなもっと大物を捕まえる計画している様子で、先日の川遊びでも真剣に川の生き物たちと戦っていました。私はこういった感じで、感情が前面に出てくるような子ども達の姿が大好きで、愛育園の行事はそれを引き出すことのできるレベルの高い行事だと思っています。また、あおぞらホームの男性職員5人で下見に行ったのですが、危険箇所の確認や打ち合わせをしようと思ったら、私の話もろくに聞かずに海に潜って魚を捕まえだす先生方の姿も子ども達を「喜ばせたい」「驚かせたい」の感情がむき出しになっていて素晴らしかったです。石龍先生が3センチほどの魚を海中で網ですくって捕まえ、「とったあー！」と拳を突き上げて海面に出てきた



姿もすごいと思います。

臨海学習行事に向けて、盛り上がりは最高潮です。この盛り上がりを加速させながら、絶対に事故やケガを起こさせない。これが私たち職員の務めです。しっかりと準備や対策を練り、愛育園初の海行事が最高の経験となるようにみんなで力を合わせていきたいと思っています。

海行事に向けて



まごころホーム 遠藤あゆな

7月17日に夏休み前の行事として海行事を計画しています。園長先生より海行事のことを伝えられた子どもたちは毎日ウキウキで海の生き物図鑑を見たりと、日々海への関心が高まっています。「カニさんいるかな？捕まえられるかな？」とキラキラした目で聞いてくる子どもたちを見ていると、怪我無く、子どもたちの期待に応えられるような素敵な行事にしたいと

いう気持ちが大きくなり、日々の業務にも精が出ます。

諸先生方から海行事は楽しみな反面、非常に危険も伴う行事だということを伝えられていますので、子どもたちもよく理解しているとは思いますが、私自身も子どもたちに海の楽しさだけでなく、危険さも伝えていきながら子どもたちの気持ちを良い形で海行事へ向けていきたいと思っています。

海行事に向けて 児童文 あおぞら

まず魚をつかまえたいです。次に泳ぎたいです。貝がらをひろったりしたいです。海にいる魚の写真をとりたいです。いろいろな魚をとりたいです。海でしんばいなことは、クラゲにさされないように、くらげからにげる。まず、海水であらいあらったら、クラゲの皮をとり、病院でみてもらいましょう。これはテレビでやっていました。楽しみにして過ごします。

(小5・T君)

今年の夏は、海に行きます。新潟の海です。新潟の海では、生き物を観察して、いろいろな海の生き物を飼いたいです。そのためにも準備や、愛育園の生活や学校の生活も頑張りたいです。海の行事、楽しみです。

(中1・K君)

自分が海でやりたい事は、海で泳ぐことです。あとは釣りがしたいです。海の魚をいっぱい釣り



たいです。自分はカニが食べたいです。早く行きたいです。すごくすごくすごく×100 楽しみにしています。

(中1・R君)

7月17日海に行くために3つの目標があります。1つ目は態度です。ふだんから先生たちに悪態をつ

かないで気持ちよく行きたいです。2つ目は魚です。危険な魚やつかまえてもいい魚などを図鑑などで調べたいです。3つ目は泳ぎです。川遊びとちがって足のつかないところもあると思うので、泳げるように、さらに潜水もできるようにしたいです。これらの3つの目標をがんばりつつ、楽しいなるようにがんばりたいです。当日は思いっきり遊びたいです。

(中1・R君)



海行事に向けて 児童文 まごころ

海行事に向けて

私は海行事に向けてがんばりたいことがあります。それは「落ち着いて過ごす。」ということです。なぜかというところでは海はとっても危ないところだからです。しっかりと落ち着いて過ごして海にいく日をむかえたいです。

また、スイカ割りをしたいです。

(中2・Hさん)

海行事に向けて

七月十七日に海に行きます。海に行くと魚をとるけど、私はさわることができないのでサワガニをさわられるようになりたいです。

当日まで、落ち着いて生活し、サワガニもさわられるようにして、みんなでさかなをとってきたいです。あと、たのしい行事にしたいです。

(中3・Mさん)

海行事に向けて

七月十七日に海に行きます。海に行くとやりたいことは、まず海の生き物にさわることです。私は動く生き物が好きではないので海に行くまでになんとかさわられるようになりたいです。また、

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

きもよく、寝苦しいと思う日でもよく眠れているように思います。正直、私が小さい頃はこんなに川遊びに行けたことも無いので、遊び疲れるくらい遊べるのは本当にうらやましいと思います。いっぱい動いて、たくましく成長していつてもらえること願い、いっぱい川遊びに連れ出したいと思います。

昆虫採集 あおぞらホーム



あおぞらホーム 山田忍

暑い日が続くあおぞらホームでは休みの度に川遊びや噴水のある公園へ行ったりと

水で遊ぶことが多いです。ですが昆虫採集なども人気の遊びです、今年はまだ一度も行っていないが毎年クワガタやカブトムシを探しに行きます。昨年は川遊びの帰りに近くのクヌギの木のある公園に寄った所カブトムシを3匹ほど捕まえることが出来ました。ただ、子ども

たちは簡単に見つかると思っているため今年はじっくりと探さないと見つからないということをお伝えしようと思っています。いつも連れていく場所の他にも個人的に昆虫採集する場所もある為、この夏は子どもたちを連れていきたいと考えています。また、近くの山などにもいい場所がないかと事前に下見に行ったり、良いスポットを探しに行ったりすることも自分自身密かな楽しみになっております。

カブトムシやクワガタを見つけた時の子供たちの嬉しそうな顔はとても楽しそうです、その笑顔を増やせるようにこの夏も活動していきたいと思っています。

北信大会 サッカー

あおぞらホーム 石龍成己

6月11日、サッカーの北信大会が行われ観戦してきました。園では3年生のR君が出場しました。ちょうど私が試合会場着いた時、既に1試合目が行われていて、驚きの光景を目にしました。背番号2番のR君を探していて、いた！と思った瞬間、仲間からボールを受けシュートを放ちました。残念ながらゴールにはなりませんでしたが、R君の積極性にびっくりしました。その後も相手をマークしたり、ボールを持っていない時も常に走ったり、相手が攻勢の時はすかさずボールをとってクリアしたり、今までに見たことのないR君の姿を見ることができましたし、チームの中でも2、3番目ぐらいによく動いていたように見えました。2年生からの途中入部で、部員もメンバーが少なく、1校だけでチームを組めない所にR君が入り、実戦経験も乏しく、ルールもあまりわからない状態で約1年間やってきました。比較的プレッシャーの少ない2年生を過ご

(令和4年7月10日発行 月刊「円福」502号付録)

してきましたが、3年生になり、部員も増え、大会も1校でチームを組んで出る。少しずつプレッシャーや責任を感じるようになってきた中、最後の2週間、特にR君は頑張りました。自分に力が無いのはしょうがないけど、ルールがわからないことでチームに迷惑をかけるのはいけない。本番に向けて、ルールの勉強をしていると聞きました。園以外の所で行動が表面化してやれたのは本当に初めての経験で、R君にとっては大きな1歩だったと思います。試合中、チームメイトからは早くパス出せやマークつけなど、厳しく指示が出ていたので試合後の雰囲気はどうかと思ったのですが、チームメイトからは笑い話のように色々言われつつも「でもRよく動いていたし、よかったんじゃないかな！」と笑顔で労ってくれました。自分の意思で途中入部し、努力し、仲間とも一体になれば、中学校の集大成として良い時間を過ごせたのではないかと思います。

他にも陸上、野球で最後の大会を迎えた子たちがいて、みんな堂々と戦ってきました。これからは受験勉強へとシフトしていきますが、部活で頑張ってきた力を生かし乗り越えていって欲しいと思います。

『中学生北信大会』

まごころホーム 竹内早季

先日、私の担当の中学三年生Uさんのソフトボールの北信大会を見に行きました。Uさんは今年から担当になったので、これまで試合を見に行く機会がなく、今回が初めて最後になります。3年間暑い日も、寒い日も欠かさず部活に行ったUさんですが、普段練習や試合のことを聞くとあまり勝ち負けにこだわっておらず、自分のミスも笑って話している姿をよく見ていたので、大会中どんな様子か想像できなかったのが楽しみでした。当日、快晴で気温も30度超えの厳しい暑さの中でしたが、同じ部活の仲間たちと一生懸命試合をしていました。守備のときの表情がいつもと違って真剣だったのが印象的でした。普段園では見せない部活の仲間との関わりで、みんなの前で応援の声出しをする姿を見て、こういうこともできるんだなあ嬉しくなりました。まだ県大会が残っているので、最後までやり切ってほしいです。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 藤原京平

日中、気温が30度を超す日も増えてきました。子どもたちからも「暑い」というような声をよく聞くようになりましたが、この暑さの中でも部屋の中でダラダラと過ごすのではなく、土日

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

などには川などに遊びに出掛けるなど、暑さに負けないように生活していきたいと思います。しかし、気温が上がると熱中症などのリスクが上がるため水分補給の促しや室内の温度管理など、子どもたちの体調面についても一層注意をしていきたいと思います。

また、あおぞらホームの中学3年生は、全員が部活を引退しました。部活動での経験を今後の糧にしていてもらいたいと思います。そして、ここからは高校進学に向けて、職員とも一丸となって受験勉強に専念していきたいと思います。

まごころホームだより

まごころホーム 牧聖加

あつという間に梅雨が過ぎ去り、毎日暑い日が続いていますが、子どもたちは変わらず元気いっぱい過ごしています。

小学生は運動会がありました。太陽が照りつける中、力強く走る姿や、大きく体を動かしたダンスはどれも感動でした。小学1年生のA君はとても恥ずかしがり屋ですが負けん気も人一倍強く、かけっこでは堂々の1位でした。玉入れも、途中のダンスでは少し恥じらいがみられましたが、カゴに向かって力一杯玉を投げることができていました。

また、中高生は父の日の会に向けてハーバリウムボールペンを作りました。とても細かい作業ですが、みんなで協力してとても素敵なものを作り上げてくれました。色紙もいつもお世話になっている先生方のことを思い、温かい気持ちがたくさんつまったプレゼントになりました。

そして、7月には海行事があります。学校ではプール開きがあり、土日には川へ遊びに行くことも増えました。海に向けて少しずつ水に慣れ、生物への興味・関心を深めていきたいです。

7月になり、夏も本番を迎えます。水分をしっかり摂り、体調には十分気をつけて過ごしていればよいと思います。

調理室だより

調理員 土屋未華

6月に入り、梅雨の時期ですが、雨が降った日は少なかったと思います。それどころか本当に6月なのかと思うほど暑い日が続き、気付いたときには梅雨明けとニュースで知り驚きました。急激な暑さに体が慣れておらず、疲れもたまりやすいですが、勤務に入るたびに子ども達は元気な姿を見せてくれます。そんな姿を見て「この子達を見習って、自分ももっと頑張らなければいけない。」と思います。暑さに負けない子ども達は本当にすごいです。

6月生まれの子はいなかったので、6月は誕生日メニューがありませんでした。特別メニューはありました。

6月4日 虫歯予防メニュー (十六雑穀米・アジフライ・カミカミサラダ・青のりビーンズ)

(令和4年7月10日発行 月刊「円福」502号付録)

6月5日 月遅れ節句メニュー (御飯・兜春巻き・ツナマカロニサラダ・卵豆腐、パンナコッタ)

6月18日はホーム食がありました。

6月19日 父の日メニュー (ロコモコ丼・マセドアンサラダ・すいか)

7月になると、もうすぐ子ども達が待ちに待った夏休み。厳しい暑さは続くと思いますが、全員が事故なく怪我なく、熱中症にもならないように楽しい夏休みを過ごして欲しいです。また、食中毒の時期でもあるのでさらに気を引き締めて、子ども達の健康と安全を守っていきたくたいです。